

市町合併に伴う新市機能の均衡と一体性の実現を目指す道路整備

計画概要

計画期間 平成21年度から平成25年度

計画の目標

本市においては平成17年4月、3市町（稲沢市・祖父江町・平和町）の合併により新市「稲沢市」が誕生し、合併による行政区域の拡大に伴い、主要施設を結ぶ道路ネットワークの整備が早急の課題となっていることから、新市の均衡ある発展と速やかな一体性の確立を目指すため、本事業を推進することにより、主要公共施設から交通の拠点となる施設へのアクセスの確保並びに移動時間の短縮を図り、迅速化が求められる行政サービスの向上し、地域間交流及び活性化の促進が期待できます。

計画の成果目標 新市内の主要施設間交通の時間的短縮
(渋滞時走行時間の15%短縮)

評価内容

◎交付対象事業の進捗状況

交付対象事業	事業費 (実績)	事業の実施状況	進捗率※
A 基幹事業	2,020百万円	道路改築により、快適に通行可能なアクセス道路の整備を実施。用地交渉が難航したため、計画より遅れて進捗。	64%
B 関連社会資本整備計画事業	—	—	—
C 効果促進事業	—	—	—
合計	2,020百万円		

※ 進捗率は計画に対する実施割合【事業費】

◎事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況

- ・ 主要な幹線道路の整備により、主要公共施設から交通拠点までの慢性的な渋滞が緩和された。（別紙1、別紙2）
- ・ 主要公共施設間を含む交通拠点までのアクセス時間の短縮により、地域間交流及び活性化の促進に努めることができた。

II 定量的指標の達成状況

- ・主要施設間（平和町公共施設エリア～JR稲沢駅）における所要到達時間を現地走行調査により算出
- ・主要地点の走行調査到達時間の和にて算出（別紙3）
- ・渋滞時走行時間の15%短縮

計画策定時	35分
最終目標値	30分
最終実績値	32分（9%短縮）

総合所見

本整備計画すべてが完了できなかったため、成果目標（渋滞時走行時間の15%短縮）には及ばなかったが一定の成果は得ることができた。

また、市道00-016号線の道路改築により市内中心部の東西幹線道路が増強され、一般車両が分散化し、慢性的な渋滞路線の軽減に努めることができた。

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）

- ・道路改築に伴う歩道の新設により、歩行者等の安全確保を図ることができた。

◎今後の方針

事業完了した工区については、一定の効果が得られているため、未完了により効果の発現が確認できなかった工区についても早期の効果発現に向け、地域住民の協力も得ながら引き続き整備を進めていく。

【基幹事業】

事業名：道路改築工事

路線名：市道00-016号線

事業箇所：稲沢市横地地内

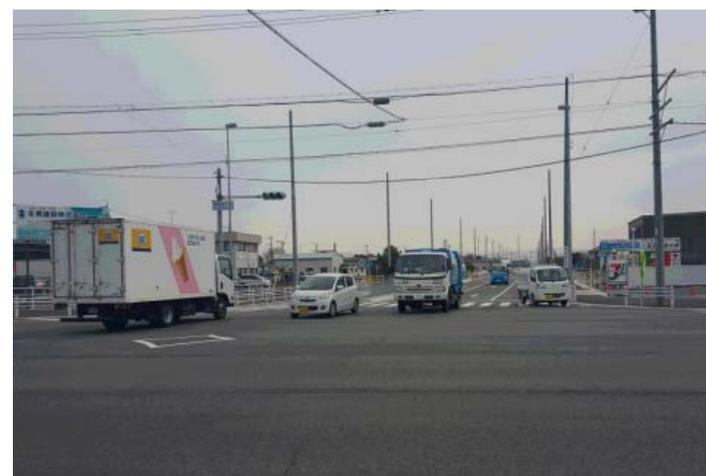
事業概要：本路線は市の中心部において東西方向の交通を担う重要な幹線道路であるが、幅員狭小により、代替路線である県道一宮蟹江線等に交通が集中し、慢性的な渋滞が発生している。このため、本路線を拡幅し通行の分散を図ることにより、渋滞を解消し、市の中心部の交通の円滑化を図るものである。

事業効果：本路線を整備したことで、通行車両の分散が図れ、稲沢市の中心部における東西道路に良好な交通の流れが確保できた。

位置図



効果発現状況



【基幹事業】

事業名：道路改築工事

路線名：市道H003号線

事業箇所：稲沢市平和町法立地内

事業概要：本路線は稲沢市平和町の中心部を南北に通過する重要な幹線道路であるが、幅員狭小により、代替路線である国道155号等に交通が集中し、慢性的な渋滞が発生している。このため、本路線を拡幅し通行の分散を図ることにより、渋滞を解消し、平和町の中心部の交通の円滑化を図るものである。

事業効果：本路線における未整備区間を拡幅したことで、通行車両の分散化が図れ、平和町の中心部における南北道路に良好な交通の流れが確保できた。



効果発現状況



新市内の主要施設間交通の時間的短縮についての達成状況

主要施設間走行調査ルート

